

## 1. 日本にとっての支援の意義

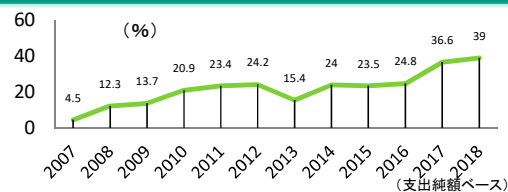
◎日本にとっての経済的チャンス  
(市場、投資先、膨大なインフラ需要)

◎戦略的重要性  
(シーレーンの安全、平和・民主主義の定着等)

◎世界の貧困削減等のためには  
この地域への支援が重要  
(膨大な貧困層人口)



### 二国間ODA実績に占める南西アジア地域の割合



### 対南西アジア支援累計額(～2018年)

円借款	10兆1,503億円
無償資金協力	1兆3,798億円
技術協力	4,286億円

(※)技術協力は2017年よりJICA実施分を計上

## 日本にも多面的な効果

**外交面**での成果: 日印間の「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」、  
日バングラデシュ間の「包括的パートナーシップ」等  
**経済面**での成果: インド進出日本企業数1,441社(18年10月在インド大・JETRO調査)  
インドは日本製造業企業の中期的な進出有望国第1位(19年度JBIC調査)  
**親日感情**の醸成: 様々な形で感謝の気持ちを表明



【100タカ紙幣】

円借款で支援したバングラデシュの  
ジャムナ多目的橋が紙幣の絵柄と  
して用いられた



©外務省HP

東日本大震災後のツナ缶支援  
(モルディブ)



©JICA

“ダショー”西岡(ブータン)  
(「最高に優れた人」という称号)

## 2. 実績と成果

### 古くて新しい開発協力

日本のODAは**コロンボプラン加盟(1954年)**に始まる。**最初の円借款はインド(1958年)**。

#### 最近の展開

★**ムンバイ-アーメ  
ダバード間高速鉄  
道への新幹線方式  
の導入**



★**先端的スキーム**の導入  
ローン・コンバージョン(ゲイツ財団  
との連携)によるポリオ対策支援  
(パキスタン)



©UNICEF/PAK2015/Waseem Niaz

★**人間の安全保障**に資する支援

★**シーレーン**の安全確保

スリランカのコロンボ港、  
沿岸警備能力強化



©JICA/Shinichi Kuno



復興支援  
(ネパール)



女子教育支援  
(パキスタン)

### 南西アジアの「質の高い成長」、平和・民主主義定着に貢献

質の高い経済成長促進

平和定着・民主主義定着



デリーメトロ(インド)

「納期」「安全第一」「整列乗車」「清潔」「女性専用車両」



©WFP Bangladesh

ミャンマー・ラカイン州からの避難民支援  
(バングラデシュ)

## 3. 課題の克服

### インフラ輸出・日本企業進出 へ向けた課題

#### 円借款事業における日本企業の受注実績

年度	2014	2015	2016	2017	2018	5年平均
世界	36.7%	49.3%	68.3%	67.0%	65.2%	57.3%
インド	4.3%	23.5%	23.4%	30.0%	7.4%	17.7%

※商品借款除く外貨建て調達分の国籍別比率 (出所) JICA資料

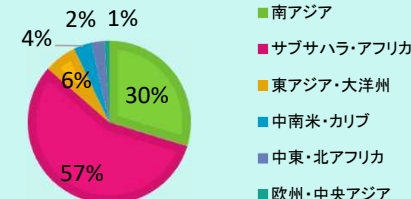
### 地域連結性の向上の必要性



©JICA

地域横断的な道路網、電力網の構築が  
課題(バングラデシュのダッカ近郊道路)

### 依然として圧倒的な貧困人口



世界の貧困人口の約3割が南アジアに存在。

### 安全の確保 (インド洋シーレーン、テロ・治安対策)



©JICA

スリランカ沿岸警備庁職員研修

### インド市場の特徴

#### 【メリット】

- ・市場規模、成長性
- ・安定した政治・社会情勢
- ・言語・コミュニケーション上の障害の少なさ等

#### 【デメリット】

- ・インフラ未整備
- ・不透明な法制度の運用
- ・厳しいコスト競争
- ・人件費の高騰等